

資料紹介 2. クラブ昇格申請に向けて

弓道同好会 クラブ昇格申請について

— 資料 —

I. クラブ昇格申請理由

1. 全日本学生弓道連盟及び東京都学生弓道連盟加盟の資格として大学公認団体（本校の場合は“部”）であらねばならない。（全日本弓道連盟及び千葉県弓道連盟は既加盟）
2. 資金の面において、同好会会費及び学友会よりの補助費のみでは運営不可能である。
 - ・全日本弓道連盟、千葉県弓道連盟、全日本学生弓道連盟及び東京都学生弓道連盟等 4 つの連盟費（約 1 万円）が補えない。
 - ・初心者用の弓具購入ができない。これは練習に大きな支障をきたしている。
 - ・大学弓道において当然必要な教師の誘致が資金不足のためできない。
3. 弓道は他のスポーツと較べてどちらかと言えば精神的な面の鍛錬にウェイトがかかっている。ですからスポーツとしては肉体的に激しいものではない。こうした精神的な鍛錬を重点とした精神修養の場を通して健全な精神また体育向上のため、より強固なクラブとする必要がある。そのためには強力な後立てが必要である。

II. 現在までの活動状況

昭和 36 年 6 月 23 日付をもって発足した弓道同好会は、すでに 2 年 7 カ月を経過した訳です。その間にどのような活動を行ったのか。

第一に射場作り 射場なくして弓道は成り立ちません。まず第 1 段階として射場作りに専念しました。昭和 36 年 11 月学生部に申請した。第二製図室裏空地の使用が許可され工事を始め、完成が昭和 37 年 6 月資金不足と空地に積まれた廃材撤去のため作業は意外に長引きました。ところが完成した矢先、第二新館建設のため、当地が作業場と化してしまい使用不可能となり、やむをえず練習場を東京都江戸川区江戸川弓道場に全員入会し新館完成まで練習を行いました。昭和 38 年 4 月に新館完成後、射場を整地しようやく練習可能となりました。しかしさらに第三新館建設が近々行われることにより射場移転を考えていましたが、四号館裏空地 300 平方メートルの使用が許可され現在射場再建築中であります。

第二に射形統一 これは一般の人には解りにくいかもしれませんが、全国から集まった各人各様の流派なり射形を持った人を整った一つの射形にするには相当日数を要します。対外的に今まで活動をしなかった理由は一つにはこれです。未経験者の教育もこれに沿って行い、現在ようやく統一されたものとなり、次の段階に進むべく昇格申請を行う次第です。

III. 今後の活動予定

次の段階として対外試合を中心に精力的に活動を行います。

4 月の第二回合宿を最初に、春秋 2 回の千葉県弓道定期大会、千葉県弓道選手権大会、県民体育大会国体予選、勤労射大会、夏の第 3 回合宿、国体壮行射会、全国的なものに全日本学生弓道選手権大会、全日本学生王座決定戦、東西学生弓道選抜対抗試合、他に関東学生弓道大会等に参加します。

IV. 現況

会員：17名（会長1名、副会長1名、会計2名、庶務2名、連盟委員2名）

顧問：中村慶次郎（電子工学科教授）

渡辺久藤（金属工学科助教授）

大西英輔（金属工学科助手）

有段者：3段・・・1名、2段・・・3名、初段・・・2名

（なお、5月10日の段級審査会には全員受験予定）

流派：小笠原流

以上 糟谷 護さん原文作成、

平成25（2013）年10月12日 井田晃浄書